

進捗管理部会の各議題に対する委員からのご質問について

○議題1 伊丹市総合交通計画(中間改訂版)令和5年度進捗状況の評価について

委員からのご意見

「基本目標1 快適な移動を支える都市環境の整備」の評価指標のうち、交通安全教室の参加者数について、参加人数が目標値よりも減少している理由は開催件数が減少したことによるものでしょうか。あるいは、開催件数は変わらないものの、参加人数が少なくなっているなどの理由でしょうか。

基本目標1 快適な移動を支える都市環境の整備

1. 基本戦略

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

1-① 自転車の安全・快適な利用の促進(6施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策(6/6)

- ・自転車通行空間の整備[1]・自転車駐車場の計画的な保全[2]
- ・自転車安全利用に関する啓発[3]
- ・自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[4]
- ・警察による指導強化[5]・自転車保険の加入推奨[6]

1-② 安全・快適で歩いて元気になるみちづくり(6施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策(6/6)

- ・歩行者通行空間の整備[7]・無電柱化の推進[8]
- ・街路樹の適正な管理[9]・歩行者ネットワークの強化[10]
- ・安全・安心見守りネットワーク事業の推進[11]
- ・通学路・生活道路の安全対策[12]

1-③ 目的や役割に応じた効率的な道路整備(5施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策(5/5)

- ・都市計画道路の整備[13]・渋滞交差点の解消・緩和[14]
- ・橋梁等の計画的な保全[15]
- ・名神湾岸連絡線等の整備推進[16]・被災時の輸送路確[17]

1-④ 環境に配慮した交通まちづくり(4施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策(4/4)

- ・環境負荷の少ない道路整備の推進[18]
- ・スマートムーブの推進[19]・自転車通勤の促進[20]
- ・グリーン経営の促進[21]

2. 評価指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6	評価 状況
自転車レーン等 整備区間延長 (km)	↑	目標 —	9.0	9.4	10.5	12.2	—
	実績	7.8	9.0	9.2	9.5	—	△
市営自転車駐車場 利用台数(台/ 日)	↑	目標 —	6,064	6,331	6,598	6,865	—
	実績	6,865	5,999	6,370	6,680	—	○
交通安全教室の 参加者数(人/年)	↑	目標 —	6,300	6,350	6,400	6,450	—
	実績	6,258	4,322	4,716	4,779	—	△
自転車関連事故 件数(件/年)	↓	目標 —	396	377	357	337	—
	実績	420	238	184	160	—	◎
人口1万人当たりの自転車関連 事故件数(件/年)	↓	目標 —	20	19	18	17	—
	実績	21	12	9	8	—	◎
歩道(街路樹)再 整備延長(km)	↑	目標 —	0.6	1.5	2.2	2.4	—
	実績	0	0.4	0.4	1.5	—	△
都市計画道路整 備率(%)	↑	目標 —	88.7	88.9	89.0	89.1	—
	実績	88.1	88.6	88.8	89.0	—	○
大気汚染に関する 環境基準達成 率(二酸化窒素N O ₂)(%)	=	目標 —	100	100	100	100	—
	実績	100	100	100	100	—	○

1

事務局回答

交通安全教室の参加者数について、目標値よりも実績値が下回っている理由についてですが、①令和3年度に就学前施設(幼稚園等)での対象者を変更したことと②新型コロナウイルス感染症対策の関係で地域等での開催件数が減ったことが主な理由となります。

なお、①については、目標設定当時は4、5歳を対象としていたところ、施設側からプログラムの見直しについてご意見をいただいたこともあり、より効果的な指導を行えるよう令和3年度から小学校就学前の5歳児のみを対象とした内容に変更しています。(年1,200人程度の減)

○議題2 伊丹市自転車活用推進計画 令和5年度取組状況の評価について

委員からのご質問

「テーマ4「いかす」自転車が活用できるまち」の評価部分で、民間事業者によるシェアサイクルサービスの開始について記載がありますが、設置状況や貸出状況についてはどのように把握されていますでしょうか。

テーマ4「いかす」 自転車が活用できるまち

1.取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

総合的な自転車活用の推進(5施策)

- ◆進捗状況が【予定通り】の取り組み(4/5)
 - ①サイクリングモデルルート環境整備[53]
 - ②バス停留所隣接の自転車駐車場整備の検討[25]
 - ③シェアサイクル等の検討[40]
 - ⑤自転車通勤の促進[20]
- ◆進捗状況が【予定を下回る】の取り組み(1/5)
 - ④災害時の自転車活用[54]

2.指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

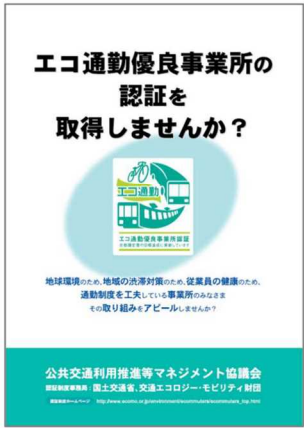
評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R10	評価状況
貸自転車台数(台)	目標	—	174	181	187	225	—
	実績	174	164	173	162	—	△

3.計画の進捗に対する評価

「貸自転車台数」が目標値を達成していないものの、民間事業者によるシェアサイクルサービスが開始されるなど、観光やにぎわい創出に繋がる、自転車を活用したまちづくりが進められています。

「災害時の自転車活用」については、原動機付自転車等とすみ分けを行い、より効果的に活用できる方法を引き続き検討するとともに、災害時には迅速に対応できるよう準備をしておく必要があると考えます。

また、「自転車通勤の促進」については、商工会議所等関係団体とも連携し、公共交通機関の利用も含めた、地元企業等に対する今後の啓発方法を検討する必要があると考えます。



出典:公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

事務局回答

令和6年7月現在の伊丹市内のシェアサイクルの状況についてですが、尼崎市や池田市など近隣市でシェアサイクル事業を展開するハローサイクリング(OpenStreet 株式会社)が、阪急伊丹リータ前と市内のホテル敷地内の2か所にシェアリングポートを設置している状況です。

利用状況については、設置事業者から随時情報提供を受けていますが、月平均 150 回程度の利用実績と伺っています。